

沖縄県損害保険代理業協会は、県内中心都市那覇市に本部を置き、140名の会員で活動しているが、特に社会貢献活動に力を入れていると自負している。特に力を入れているのが、以下の3つの事業である。

1つ目は、防災活動事業への取り組みである。大人向けには防災研修体験教室、子ども向けにはぼうさい探検隊によるぼうさいマップ作成等を行っている。

2つ目は、交通安全事業である。沖縄県交通安全推進協議会とともに「飲酒運転は絶対にしな

い、させない、ゆるさない」と銘打ち、「飲酒運転根絶宣言」を展開して

いる。また、沖縄総合事務局とタイアップで「無保険車追放キャンペーン」を行った。

3つ目は、環境問題事業への取り組みである。毎年「ビーチクリーンアップ運動」を県内各地で開催している。また地球温暖化防止のため沖縄県公衆衛生協会を招き「エコドライブ講習会」を開催。

沖縄バイオ燃料本格普及事業推進協議会とともにバイオ燃料の普及活動をしている。

### 沖縄県代協 「ぼうさい探検隊」

以上3つの項目を基本事業とした上で、その他の社会貢献活動も年々取り入れている。

### 小学生と地域を歩き探検

#### 身の回りの「ぼうさいマップ」を作成

な安全教育プログラムである。沖縄県代協では、平成24年8月8日・18日・19日の3日間にわたり、沖縄県八重瀬町立東風平小学校と沖縄県糸満市立糸満小学校の児童・生徒と

避難施設等の場所を確認したりした上で、「ぼうさいマップ」を子どもたちの目線で作成した。町探検では、突然の訪問にも関わらず、地域の方々が快く応じてくださり、



野原委員長(右)と東風平小の子どもたち



マップを作成する糸満小の子どもたち

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちが楽しみながら町にある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的

な活動である。実際に町を歩き、地域の探検をした。各市町村役場や学校施設周辺の商店街を訪問し、「私たちが住んでいる町の防災」

について大人にインタビューしたり、危険箇所・公共電話・子ども110番も掲載された。なお、東風

平小学校のチーム「東風っ子」の作品は、第9回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール(主催:日本損害保険協会)で佳作に選ばれた。

この事業を通して得たものがたくさんあった。その一つは、我々保険募集人が深く地域に根ざさ

# 日本代協 地域貢献活動リポート

<12>

(執筆) 野原早織 企  
画環境・CSR委員長